



大井町議会だより

2015.8.1 No.184

ひ た よ ろ う たん

議会報告会	2
定例会(第2回)・臨時会(第1回、2回)	4
6月3日・4日の2日間	
一般質問 ここが聞きたい(7人)	6
委員会活動報告	10
子ども議会	11
町のこの人あの人	12

子育て支援から高齢者の見守りまで
地域の心強い相談役
植松 伸二さん



町長ご答弁を！・・・子ども議会 議員の皆さん

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp / URL <http://www.town.oi.kanagawa.jp>

この広報は、再生紙を使用しています。

6回目となる議会報告会を開催

6回目となる議会報告会を4会場で開催し、合計で61名の参加を得ました。

今回から新しい試みとしてプロジェクトやスクリーンを用いた形式で平成27年度予算の審議状況、常任委員会の活動状況の報告を行なった後、意見交換を実施しました。

参加者から様々な意見や提言を受け、議会としての課題を明確化するとともに、町民の声を直接伺うことの重要性を再確認することができました。

J A西湘 大井支店
平成27年5月19日実施

問 町の第五次総合計画の審議会に代表されるあらゆる審議過程やプロポーザルによる事業者の選定過程を傍聴可、公開制にするよう議会として働きかける考えは。
答 総合計画の審議会は一般町民が多く参加していることを考慮して発言者名を伏せた形で議事録を公開している。内容を

鑑み、可能な限り公開を働きかける。

問 市場踏切の見通しの悪さについて。対向車ありの表示がされるセンサーを設置するなど安全性の向上を図れないか。
答 過去の一般質問の答弁では、車の待避所の設置や歩行者・自転車の通路の設置が可能との答弁を得たものの、改善の兆しが見えない。センサーの設置も提案したが、予算的に難しいとの回答があった。今後も踏切道の安全性の確保を町側に働きかけていく。

問 中学生までの小児医療費助成再拡大は町の財政を圧迫しないか。
答 医療費助成対象の再拡大は8%から10%に引き上げられる予定の消費税増税分を財源的根拠にしているため、町の財政的なひっ迫は生じないと考える。

問 栄光愛児園の分園建設にかかる町の財政負担
答 (補助金支出)の根拠は。園(0歳から2歳児保育)にかかる国の補助金制度である保育所等整備交付金を利用して国が2分の1、町が4分の1、事業者が4分の1の負担割合で当初予算を組んでいる。民間保育園の力を活用して子育て事業を活性化していく町の考えを議会としても賛成した。

問 議員宛てに個別に情報提供などを行いたい場合に事務局にポストのよ様な設備があることが望ましい。検討を。
答 議会事務局がその役割を果たしていると考えられる。情報提供などはこれまで通り事務局にお届けいただきたい。



問 ウイルス性肝炎の町独自の検診は実施しているか。
答 希望者を対象に町内医療機関にて検査を実施している。検査費は500円で、70歳以上の方については無料である。

そつわ会館
平成27年5月20日実施

問 湘光中学校の耐震はどうなっているのか。
答 構造耐震指標であるIS値は0.7であり、0.6以上が必要な数値であることから安全性をクリアしているといえる。震度に関しては6強に対応している。

問 消防団の出動態勢について。平地での建物火災消火活動中に丘陵地で建物火災が起これたらどのような対応になるのか。
答 団長の判断のもと当該エリアの消防団が優先的に向かう。大井町は常備消防のスケールメリットの恩恵も大きく、初動

の迅速さという点においても十分なバックアップ体制が整っている。

問 四季の里の駐車場は砂埃もひどく飲食を提供する場としてふさわしくない。舗装を行う考えは。
答 町民の声として町側に届ける。議会としても当該敷地の舗装整備は必要な予算措置であると考える。



ふれあい館
平成27年5月21日実施

問 議会や町の行事などをケーブルテレビ等で中継することで、町民サービスの向上を図れる。検討したことはあるか。
答 委員会で検討した経

緯はある。必要性を感じているので、今後も議論を重ねていきたい。

問 大井小学校・湘光中学校に太陽光パネルを設置することだが、メンテナンス費の発生をどのくらい想定しているか。

答 太陽光パネルの設置は国庫補助で行った。メンテナンス費については特定のものは見込んでいない。通常の維持費でまかなわれる。

問 町内の太陽光発電施設の発電量が町内80%の使用電力に相当するという表現は、有事の際に同設備を防災面で利用できるといふ誤解を生む。議会として是正を。

答 議会として町側に報告した。

問 相和小学校にICT教育を導入する考えに至った経緯は。

答 相和小学校の小規模特認校化に伴い魅力ある教育環境の創出という観点から導入が検討され、

教職員が先進地である品川区の学校を視察するなど経過を経て導入に至った。平成27年度は準備期間のため具体的な内容の決定はこれからであるが、議会としてもしっかりと注視していきたい。

生涯学習センター

平成27年5月22日実施

問 役場北側に建設予定の2ha規模の公園について。設計の段階から町民が傍聴し、意見を言える

場を提供するよう町に働きかけてほしい。

答 町民の声として町側に届けた。アンケートになるかワークショップ形式になるかはこれから議論していくが、なんらかの形で幅広い世代の町民の声を収集する機会を設けるとのことである。

問 防災無線が聞き取りづらい。改善の要求や個別受信機などの提供の考えは。

答 平成33年から34年頃までに防災無線のデジタル化を図るため、現在町では個別受信機の購入も補助も終了している。無線の内容はテレフォンサービスやあんしんメールで確認できるので、利用して頂きたい。

問 空き家の定義は。また、先進地の視察を行ったことだが委員会としてそれを今後どのように生かしていくのか。

答 そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態



又は著しく衛生上有害となるおそれのある状態、適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態などによって放置が不適切である状態のものを国は特定空き家と定義している。空き家の利活用に成功している先進事例を視察できたことは大変有意義であった。企画経済常任委員会として今後本町の状況に対応した対策を打ち出していきたい。

報告会アンケート集計表
4会場合計

アンケート回収数 50 *参加者数 61

1. 議会報告会について

資料について	わかりやすかった ……21
	わかりにくかった ……4
	どちらともいえない ……24
	無記入 ……1
説明時間について	長かった ……4
	ちょうどよかった ……36
	短かった ……6
	無記入 ……4

2. 現状の町議会について

議会の役割について	果たしている ……18
	果たしていない ……3
	どちらともいえない ……25
	無記入 ……4

議会への期待について	期待している ……32
	期待していない ……2
	どちらともいえない ……14
	無記入 ……2

3. 議会だよりについて

「読まれ度」について	毎号全ページを読む ……18
	興味のある記事の時だけ ……28
	ほとんど読まない ……2
	無記入 ……2
紙面について	読みやすく分かりやすい ……33
	読みづらくわかりにくい ……8
	無記入 ……9

第2回定例会

第2回定例会は6月3日、4日の会期2日で開催されました。

この定例会では、条例3件、補正予算1件、契約1件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

また、行財政全般に及ぶ一般質問には、7人の議員が登壇し、町の考えを質しました。

条例

大井町国民健康保険条例の一部を改正する条例
(賛成全員)

*地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い必要の改正を行うもの。

問 限度額を上げたことによる影響は。

答 平成26年度課税ベースでの比較で189万6000円の増収。

問 上げなくても良かった

のではないかと。
答 地方税法の改正のもと中間層の負担への配慮がベースにあり公平性を考え、上げた。

大井町国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
(賛成全員)

*地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い必要の改正を行うもの。

大井町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
(賛成全員)

*児童福祉施設最低基準の一部を改正する省令及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令が平成27年4月1日から施行されたため改正するもの。

問 本町の看護師、准看護師は何人か。

答 足柄上郡内の人数として

は看護師31名、准看護師24名。

補正予算

一般会計(第2号)

(賛成12反対1)

*歳入は国庫支出金、寄付金等の増。

歳入歳出それぞれ49億1920万6000円とす

る。

問 町は金子・金手財産区からの寄付を受けてもいいのか。

答 金子・金手財産区からの寄付は今までも受けている。

問 金子・金手地区で使うべきではないか。

答 財産区には金田財産区と金子・金手共有財産区管理委員会があり、金田財産区は自治振興費に使うとの使途があるが、金子・金手財産区はこの組織の意思により用途に供されるといって

いる。

契約

物品購入契約の締結について(タブレットパソコン等購入)

(賛成全員)

*大井町立相和小学校のICT教育の環境整備を行うものであり、入札執行の結果、株式会社JMC神奈川中央支店が契約金額1285万2000円

で落札。

問 当初予算ではリースと聞いていたが購入した理由は。

答 国の補助金を使ったため。

問 教員への支援は。

答 立ち上がり時に5回の研修を予定。その後は細部においてもその都度対応する。

新しいソフトについても順次更新していく。

問 セキュリティについてはどうか。

答 業者に確認しており心配ない。

問 入札の辞退者に対するペナルティの基準はあるのか。

答 辞退ではなく不着という場合は次回入札の対応を考える。

問 指名競争入札であるから、指名する前の段階で要綱に定められる業者なのか考えなかつたか。

答 量販店でも対応できる場合もあり信用して指名した。

選挙

小田原市外二ヶ市町組合議会議員の選出について

*平成27年9月13日をもって任期満了となるため後任の選出。

(賛成全員)

大沢 宏氏
(再任 西大井在住)

第1回臨時会

5月20日に開催され、「契約」ほか3件の議案を審議しました。

条例(専決処分の承認)

大井町税条例の一部を改正する条例
(賛成全員)

*地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、同法条項等を引用する本町条例の一部を改正する。

大井町税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
(賛成12 反対1)

*地方税法等の一部を改正する条例の公布に伴い、昨年公布した本町税条例の一部を改正する条例について、同法条項等を引用する条文の改正と軽自動車税の一部の税額改正の適用を一年延期する。

問 消費税増税の延期に伴い、軽自動車税の一部

第1回、第2回臨時会・審議結果

についても1年延期する
のか。
【答】 今回の税制改正の一
要因である。

補正予算

一般会計(第1号)
(賛成12 反対1)

*国の平成26年度補正予
算による経済対策を受け、
湘光中学校大規模改修工
事等を26年度補正予算第
7号に計上したことによ
り、27年度予算に計上し
た同事業費の減額が主な
もの。
歳入 3億4068万円
の減額
歳出 3億5022万7
千円の減額
※差額は予備費にて調整

契約

工事請負契約の締結につ
いて(平成27年度湘光中
学校大規模改修工事《26
年度繰越事業》)

(賛成全員)

*予定価格を3億399

第2回臨時会

6月15日に開催され
「副町長の選任」を審議
しました。

人事

大井町副町長の選任につ
いて同意を求めること
(賛成全員)

【問】 昨年、一昨年によ
うな、追加工事による補正
予算の計上はないか。
【答】 昨年の反省を踏まえ、
今年度の工事箇所は入念
な調査を行った。契約変
更のないよう進めさせて
いただく。

【問】 予定価格と入札価格
に大きな離れがあるが、
予算見積りに甘さがあるの
ではないか。
【答】 設計にあたっては県
の基準単価を用いて積算
している。



井上 仲治氏

【問】 露木副町長は、県と
の太いパイプをもってい
られたが後任は。
【答】 県との人事交流で、
2年間出向していた経緯
もあり、それなりの人脈
は持っている。

審議した議案と審議結果 (平成27年第1回臨時会・第2回定例会・第2回臨時会)

○は賛成 ×は反対
清水豊司議長は、採決に加わりません。

定例会・臨時会の別	議案番号	議案名	清水 亜樹	諸星 光浩	伊藤 奈穂子	曾根田 徹	神保 京子	細田 勝治	伊田 徳之	瀬戸 和雄	北村 正夫	小田 眞一	片野 昭	石井 勲	鈴木 武夫	審議結果
第1回臨時会	32	専決処分の承認 (税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	33	専決処分の承認 (税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	34	平成27年度一般会計補正予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	35	工事請負契約の締結 (湘光中学校大規模改修工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第2回定例会	36	国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	37	国民健康保険の一部を改正する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	38	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	39	27年度一般会計補正予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第2回臨時会	41	物品購入契約の締結(タブレットパソコン等購入)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	42	副町長の選任について同意を求めること	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

町道7号線今年度の工事区間は

【答】 松田入口から300mを予定



諸星 光浩 議員

【問】 工事を実施する時期はいつか。

【都市整備課長】 11月から3月までの工期で松田入口の交差点から300m位を予定。

【問】 金手踏切の拡幅が必要と考えるが。

【町長】 町内の他の踏切や堰の事もありJRが難色を示している。

【御殿場線の利便性について】

【問】 御殿場線のICカード導入を要望しているか。

【町長】 利用者の利便性の導入は積極的な要望を努めて進めている。



金手踏切

【問】 中学生の問題行動の把握及び対応はされているか。

【教育長】 生徒に声掛けなど関わりを多くするようにしている。生徒のSNSを受け止めるためアンケートを実施している。問題行動の対応は、校内の組織的な指導体制の構築に努め未然防止と円滑な対応を行っている。

【問】 上大井駅の西側に改札を設ける要望をしているか。

【町長】 町としても必要性を感じているが、ICカードの導入や他の件と合わせて優先順位の中で順次要望して行く。

【中学生の問題行動の実態は】

【問】 SNSなどネット上の問題行動の把握及び対応はされているか。

【教育長】 生徒や保護者から早期の情報提供によって重大事案になつていない。新たな取り組みとして各関係団体と湘光中学校非行防止サミットを計画している。

総合体育館の照明器具等の修繕は

【答】 緊急性の高いものから対応していく

清水 亜樹 議員



多くの電球が切れている体育館アリーナ

にも老朽化が進んでいる施設がある中、緊急性の高いものから対応していく。

【問】 保育園、幼稚園、小学校等の避難訓練に専門家等の外部の意見を取り入れていく考えは。

【子育て健康課長】 検討していきたいと考えます。

【教育総務課長】 各防災管理者に対して意見があったことを伝えていく。

【問】 保育園にチェックインシステム（メールシステム）を導入する考えは。

【子育て健康課長】 一つの通信手段、連絡網として検討していく。

【問】 今年度予定されている宿泊訓練の内容、対象者は。

【防災安全室長】 自主防災リーダー研修会等を通じて住民の意見の中で詳細を決定する。

【問】 広域避難所に井戸を設置する考えは。

【防災安全室長】 有効な一つのツールと考え、今後検討していく。

【ふるさと納税制度】

【問】 ふるさと納税への積極的な取り組みが必要と考えるが、取り組む考えは。

【町長】 新たなチャレンジとして検討していきたい。

小中学校にミストシャワーの設置を

【答】 先進事例を検証し検討する



伊藤 奈穂子 議員

を含め検討を進める。
【不育症について】
不育症とは妊娠はするが流産や死産、新生児死亡などを繰り返し、元気な赤ちゃんを得られないことをいう。この不育症治療の医療費助成制度導入の考えは。



熱戦 熱中症に注意！

【問】 熱中症対策は命を守る大事な取り組みである。暑さをしのぐツールとして小中学校及び公共施設へのミストシャワー設置の考えは。

【町長】 先進事例を注視しながら慎重に検討する。

【認知症対策について】

【問】 高齢化が進むにつれ認知症の発症率も高くなる傾向にある。認知症対策の一つとして認知症カフェについて考えは。

【介護福祉課長】 色々な方が集い認知症を理解する場が理想だと考えるが行

【問】 認知症の行方不明者が発生したと想定し声かけをして無事に保護するという「見守り・声かけ模擬訓練」を取り入れる考えは。

【町長】 本年9月議会に議案を提出し議決ののち町民の皆様に周知する予定。

【問】 町には職員が目指すべき将来を確立するためプログラムがあるか。

【問】 町民への周知はいつになるのか。

【問】 子育て健康課長 子育て施策の一つとして認識はしているが慎重に調査し検討する。

【問】 小児医療費助成制度を中学3年生までに拡充することにについて

本町及び町長には人事異動の基準はあるか

【答】 概ね在職5年以上で実施



細田 勝治 議員

【問】 人事異動は最大の人材育成と言われるが。

【町長】 能力開発期の職員は適材適所の人事配置を行い、能力活用期の職員は将来のキャリアプランを意識した異動を行なう。

【問】 本町及び町長には人事異動に関する基準があるのか。

【町長】 個々の要件を考慮し、概ね5年以上の同一在職者を対象にしている。



各種の研修に参加して能力開発に取り組む

総合力を身に付けるように育成する。

【問】 本町は5町で唯一女性管理職がないが、この現状をどう思うか。

【町長】 平成21年以後不在だが、性別にとらわれない能力・実績主義の評価制度により平等な選考をする。

【問】 一定の割合で女性管理職を登用するポジティブアクションの導入は。

【総務安全課長】 資質や能力を勘案した中での人材登用が原則であり、数字の設定は考えていない。

マイナンバー制度の対応について

答 効率的な行政運営のために利用する



曾根田 徹 議員

問 マイナンバーは10月から通知されるが、受取拒否できるとしている。また、マイナンバーを使う申請書にマイナンバーを書きたくない人がいた場合の対応は。

町民課長 住民には通知を受取っていた。また、どうしてもという場合は個別に対応していく。

問 3つの分野でマイナンバーが使われるが、現在把握しているだけで何項目が使われるのか。

町民課長 将来的に情報連携するためデータとして

て積上げ作業をしていく。また、本人の理解と協力ができないとできない作業である。

問 職員がマイナンバーについて説明できないといけないが、今現在のどの程度理解しているのか。また、10月までに、全て理解できるのか。

町民課長 全職員がこの制度の仕組みを理解するという状況であり、マイナンバーを使う場合には必ず説明責任がある。今後の話になるが個別にレベルを上げていく。

問 マイナンバーを扱うに当たり、人為的ミスをなくすための確認、対応は。

町民課長 マイナンバーの持ち主かは、写真付証明書等で確認しながら取扱うのが原則である。

問 広報おおい、町政懇話会以外でも説明をしていくのか。

町民課長 周知が必要であれば、出前講座等も検討する。



個人情報の危機

大井町住民投票条例はいつ策定するのか

答 未解決課題があり、保留している



小田 眞一 議員

問 大井町自治基本条例第18条で、策定が定められている住民投票条例は未策定のまま7年目に入った。なぜ策定しない。

町長 9名で構成された策定会議を設置し、パブリックコメントを実施し条例素案は策定した。しかしその後、竹島問題・尖閣諸島中国漁船衝突事



住民投票を呼び掛けるのぼり旗 (埼玉県北本市)

件等を契機に、外国人参政権に絡む社会情勢や国政選挙の年齢要件議論の状況を鑑み、条例案の議会上程を保留してきた。

問 既に作成されている大井町住民投票条例素案(逐条解説)の有効性は。

企画財政課長 今後の社会情勢を加味し加筆修正し、検討していく考えだ。

問 策定会議、パブリックコメントと、適切な策定過程を踏んできた条例素案に未解決課題があり、議会上程を保留している事由を策定会議委員には報告してあるのか。

企画財政課長 議会上程保留は報告したが、その

後の対応策は報告していない状況だ。

問 外国人参政権の問題解決は容易なことではないと思う。国の法律内での地方自治体の条例制定なら違法性はないと考える。現に近隣の自治体では制定している。

適切な策定手続きを踏んで、しかも国の法定内の条例案が7年間にわたる野ざらし状態でよいのか。

企画財政課長 永住外国人の要件の情勢変化の可能性はゼロではない。その時期が来たら更なる検討を加え条例策定に執行付けていきたいと考える。

町道4号線県道格上げの実現度は

答 整備していくことが相和活性化の重要な位置づけ

石井 勲 議員



問 都市計画道路は平成26年度県において予備設計される予定であった。道路規格等は提示されているか。

町長 県により測量・土地調査が行われ、県警やJR東海と事前協議を行っている状況。具体的な道路規格についてはいまだ

決定していない。

問 沿線開発と御殿場線踏切・交差水路問題は。

町長 都市計画に於ける区域区分の要件にあった土地利用を行うていくと認識している。

踏切・水路に関しては県による詳細設計やJR東海と協議が済まないことと決定しないと認識願えれば。

問 町道4号線の一部県道格上げと上大井赤坂での県道72号線との合流問題の実現度は。

町長 町道4号線の県道移管については道路環境や条件等を整理し実現に取り組みたい。また取り組まなければならないと

認識を持ち、72号線との合流については線形をきちんと整えた中で県にお

願いしていきたい。また小田原市の協力がなければならぬので市長にも内々で申し上げ、ある程度のご理解をいたされた。

問 平成26年度町内道路路面性状調査を実施されたが結果に基づく事業化は。

町長 平成27年度補修計画予定の町道7号線はひび割れ率が高く、地域防災計画の緊急輸送道路に指定されていることや、幹線道路、バス路線である等で優先順位が高く路面補修の必要性が高いと認識出来た。



町道4号線 上大井赤坂合流交差点

議会を傍聴して

今年度採用の町職員2人が、新人研修の一環として第2回定例会を傍聴

企画財政課
安藤 祐貴

生活環境課
石井 友祐

議会傍聴は初めての経験であり、議場には独特の緊張感が漂っているように感じました。一般質問は、町民の生活に関わる事柄について、議員が町民視点から行政に質問するものであり、町民の疑問や要望の内容について関心を持ちながら拝聴しました。

実際の質問では、私が取り組んでいる仕事や新採用職員の能力向上に関する質問もあり、私個人にも関係することも議論されているのだと学びました。議員の立場から考えたとき、行政に対し、取組みが不十分な事柄について推し進めるべきだという内容は理解できます。一方で、職員の立場で考えたとき、様々な調整や難儀な問題から時間のかかる事柄に対し、取捨選択の上で、より重要で喫緊の課題を優先することも仕方がなく思います。

行政は膨大な課題がある中、どの仕事を優先するか見極める力は重要ですが、必ずしも選択が正しいとは限りません。行政の選択について確認をするチェック機関として議会が存在することを今回の議会傍聴で理解し、私自身の仕事も常に確認されているという意識が生まれました。

新人研修の一環として、平成27年大井町議会第2回定例会を傍聴できたことは非常に有意義な経験となりました。

どの質問事項に関しても質問者の方々は時間の許す限り、熱意を以て納得のいくまでとことん答えを追求し、それに答える側も誠心誠意答弁をしている姿が強く印象に残っております。その質問の中にはその場で答えをすぐに出せないものや、マイナンバーについてなど行政の側としても未知な部分に対することに関するものもありました。しかし、ともすれば抽象的な質疑応答になってしまいそうな内容でも、繰り返しお互いの言葉の内容を確認しあいながら進められていった様子を目の当たりにして、町を運営していくことの難しさや複雑さ、そしてその重圧を改めて感じました。

今後日々の業務をこなしていく中で、今回の研修で見た真摯な姿と熱意を以て町を良くしようという姿勢を忘れずに、町の発展や町民の皆様の快適な暮らしの力となるよう日々研鑽を重ねていきたいと思っております。

委員会活動報告

企画経済常任委員会

企画経済常任委員会で
は去る5月11日～13日の
日程で、愛媛県内子町及
び高知県梶原町へ行政視
察を行った。視察目的は
次の二項目である。

- ① 農産物直売所につ
いて
- ② 空き家対策につい
て

農産物直売所について 愛知県内子町

愛媛県内子町は、人口
17,680人と本町と
同じくらいの町である。

内子町では、「道の駅」
である「からり」を見学
した。「からり」は第三
セクターが運営をしてお
り、町全体が協力し発展
してきた印象を受けた。

また、町内から60名もの
従業員を採用し雇用の確
保にも貢献している。
「からり」は内子町の
農家だけによる農産物の



直売所である。農家の意
識改革やトレーサビリティ
システム(生産履歴)に
よる経営の強化、レスト
ランなどの併設による集
客力アップ等農業振興・
観光振興に大きく寄与し
ている。来場者は、年間
70万人位で80%が中京阪
神地区から来場している。
本町の「四季の里」を
中心とした相和地域の活
性化の参考になる視察で
あった。

空き家対策について 高知県梶原町

高知県梶原町は、人口
3,692人、風力発電

をはじめとした自然エネ
ルギーを活かした取り組
みなど特徴ある町である
が、今回は「空き家対策」
の先進町として視察を行っ
た。山間部の空き家が增
える一方で、都会から田
舎に移り住む人が増えて
きている現象をとらえ、
空き家活用促進事業とし
て事業化が始まった。空
き家活用住宅は、人の住
んでいない1戸建てを10
年契約で借り上げ、町が
管理運営を行い移住定住
者等に提供する。改修に
かかる費用は補助金と町
負担分で、町負担分の一
部は利用料で充当してい
る。町、所有者、移住定
住者のそれぞれにメリッ
トがあることが特徴であ
る。



その成果として子育て
世帯の移住定住者が増
加した。今後も入居者の
増加が見込まれるが、地
域への溶け込みやPRな
ど課題もある。空き家問
題は安心・安全の問題、
人口ビジョンの上からも
大きな課題である。今後
本町としての対策を検討
し町に提言をしていきた
い。

教育福祉常任委員会

教育福祉常任委員会で
は去る6月29日～7月1
日の日程で福島県新地町、
茨城県常陸太田市、東京
都日野市へ行政視察を行っ
た。視察目的は次の二項
目である。

- ① ICT教育につい
て
- ② 子育て支援につい
て

ICT教育の取り組み について～先進地に 学ぶ～ 福島県新地町 東京都 日野市

新地町は福島県の沿岸
部、宮城県との県境に位
置し、東日本大震災では
津波被害などにより11
9名の尊い命が奪われた
被災地である。

ICT教育の先進地で
ある福島県新地町では児
童の確かな学力を育成す
るため、ICTの充実を
図っている。

今回は新地小学校で、
実際のICTを活用した
6年生の理科の授業を見
学することが出来た。

その中で非常に重要と
感じたのがICT支援員
の存在である。この授業
でも2名の支援員が授業
をサポートし、タブレッ
ト機器の操作が分からな
い児童への指導や、不具
合のあるタブレット機器
への対応等を行い、教師
は授業を進める事に専念
していたように感じた。

各小中学校に2、3名
の支援員が常駐している。
説明では、ICT活用授
業の資料作成、家庭学習
用の動画作成など準備の
多くはICT支援員が行っ
ており、支援員がいなく

では授業が成り立たない。
支援員が機器を操作する
ことで、教師は児童と向
き合って授業ができる、
と力説していた。



日野市では、産学官共
同による次世代型学びプ
ロジェクト「ひの@平山
小」を開始し、ICT活
用による更なる学びの創
造のための共同研究を連
携して進めている。

今回の視察でICT支
援員の活用が非常に重要
だと感じた。

本町においても、相和
小学校へのICT教育の
導入が決まっており、よ
り良いICTの活用がで
きるよう議会として注視
していきたい。

委員会活動報告・子ども議会

子育て上手常陸太田
く子育てしやすいまち
づくりのために
茨城県常陸太田市

常陸太田市は、平成16年に市町村合併し現在の市となった。合併当初の人口6万人に対し現在は8千人が減少、人口減少が大きな課題となっており、その背景には、若者世代が生活の利便性の高い周辺自治体へ転出してしまふことや、出生率の低下などが挙げられている。



平成21年度から少子化対策を市の最重要課題として位置づけプロジェクトチームを結成し、さま

さまざまな施策の案を出し現在に至っている。若者世代が魅力を感じるまちづくりを推進するなどして、就労、結婚、妊娠、出産や子育てのしやすい環境を総合的に整備、長期的な出生率の向上に寄与している。

これらの施策を推進するにあたり、子育て世代の主婦層で推進隊を結成し口コミなどによるPRを行っている。

本町においても人口減少が課題となる中で、施策を模索し提案等を行っていききたい。



子ども議会

議員と質問事項

7月23日(木)午前9時から夏休み恒例となった子ども議会が開催された。
相和小学校6年生の久保寺 輝(くぼ てる)ひかる)議長の進行のもと、町内3小学校の5・6年生の中から選ばれた

19人の子ども議員が次々に登壇し、通路の安全対策、公園など身近な問題や、人口増加策、ICT教育などの時勢に即した疑問など多岐に渡る質問・提言を町長に行なった。



議員氏名	学校	学年	質問事項
石井大樹	上大井	5年	大井町の人口を増やす取り組みについて
江崎智弥	上大井	6年	道の駅について
大川菜々美	相和	5年	上山田からの通学路の安全対策について
北園魅羽	大井	6年	道路の整備について
北村久将	大井	6年	町の木キンモクセイについて
木戸岡杏菜	上大井	6年	公園の遊具について
佐々木ふたば	大井	6年	ひょうたんを生かした町づくり
佐藤陽菜美	大井	6年	福祉の充実
嶋村結来	上大井	5年	お年寄りとの交流について
鈴木杏里紗	大井	6年	ふれあいの場と機会を
瀬戸咲羽	大井	6年	子どもが利用できる施設について
瀬戸舜介	上大井	6年	町の街灯について
田島桃果	上大井	6年	町の公園について
檀上幹丸	大井	6年	安心・安全な町づくり
寺澤亜美	大井	6年	車のスピードを下げる対策
新納茜	大井	6年	ICT教育の推進について
深澤拍真	大井	6年	農村公園の遊具の修理について
堀内惇哉	上大井	6年	町の施設について
柳川琴乃	相和	6年	獅子窪からの通学路の安全対策について

● 町のこの人あの人 ●

子育て支援から高齢者の見守りまで地域の心強い相談役



上大井地区
植松 伸二さん

民生委員児童委員として大井町会長、足柄上地区の代表と県の役員を務められている上大井在住、植松伸二さんを紹介する。

▼地域活動に関わるまで

植松さんは東京都出身。大学卒業後は南足柄市の企業に勤められた。富士山の見えるところに住みたい、と常々思っていたところ、縁あって大井町の現在の住所に巡り合う。

会社では技術畑一筋。新商品の開発に力を尽くした。苛烈な日々で、仕事はチャレンジの連続だったと振り返る。

地域との関わりはほとんどなかったが、定年から数年後、周囲から民生委員をやってみないかと勧められる。自分にはとても無理だ

と当初は固辞していたものの、友人の強い勧めもあり、また、かつてのチャレンジの日々を思い出して新しい扉を開く勇気を奮った。

▼民生委員として

民生委員児童委員は厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において住民の立場に立つて相談に応じ、援助を行う職務である。

孤立の解消や高齢者の見守りばかりがクローズアップされがちだが、子供や子育てに不安を持つ親の相談も受ける、まさに地域の心強い相談役であるといえる。

相手の悩みの内容に応じて支援策を考え、実践するわけであるが、それ以前に相手に信頼される自分のことを安心して話せるような人になることが大切であると

柔和な表情で語る植松さん。個人主義の進行に伴い相手の内懐に入るのは以前に比べてとても難しくなっているという。だからこそ民生委員は謙虚に相手に共感する姿勢が大切だと話された。

▼様々な活動

文武両道の人でもある植松さんは、この他にも様々な形で活躍している。人当たりの良さとかつての専門性を買われ、小学校で子供たちがサイエンスに興味を持つような実験や話をして

いる。子供とのコミュニケーションを通じて学ぶことも多いと真摯に語る。スキーの経験が豊富で娘や孫と楽しむ一方、地域の子供たちの指導もしている。

加えて混声ボウリンでの活動。社協の理事など、その活躍は枚挙に暇がない。これからは長くスキーが出来るよう体力維持に努めたい、と目を輝かせるそのパワフルさにはただただ敬服するのみである。

▼今後の抱負

これから多くの人と一緒に、互いに助け合う古き良き時代にもあったような地域のつながりを築いていきたい、とその抱負を語る。周りに恵まれてここまでやってこられた。これから

も相手の良いところから学び、地域に貢献しつつ自分を成長させていきたい、と最後まで誠実な話しぶりが素敵だった。



町政を知る良い機会です

議会傍聴にお越しく下さい

9月7日(月)午前9時 第3回定例会開催

編集後記

各地で起こっている地震や噴火、わが町でも他人事でなく、何時起こるか解らない震災。皆さま防災の準備は万全でしょうか。

6月3日、4日と第2回定例会を終え、7名の議員からの一般質問があり、一般会計の補正予算も議決されました。

5月19日から22日までは、6回目となる議会報告会を行い、4会場に参加者の方々から貴重なご意見を頂きました。当日の質疑はホームページにも掲載しております。関心のある方は是非ご覧ください。

次回に向け広報委員会では、より良い報告会になるよう検討してまいります。

神保 京子